

2025（令和7）年度後期
教学改善のための授業評価アンケート
報告書

大阪成蹊大学

調査概要

授業評価アンケート結果

集計データ

調査票

調査概要

1) 調査目的

個々の授業に対して学生の率直な意見を聴取・理解し、学生にとって分かり易く、学修成果の得易い教育活動が行えるよう、授業の充実・改善、授業法の開発に資することを目的とする。

2) 調査項目

<一般科目>

- ・回答者の基本属性(学籍番号、所属学部、学年、性別、学生区分)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(15問)
- ・「教育環境」に関する項目(2問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(2問)

<ピアノ科目>

- ・回答者の基本属性(学籍番号、所属学部)
- ・「授業への学生の取り組み」に関する項目(5問)
- ・「授業内容と授業の進め方」に関する項目(10問)
- ・「授業を通して得られたこと」に関する項目(8問)
- ・自由記述項目(2問)

3) 調査対象

本学の2025(R7)年度後期開講の全授業(※ピアノ科目以外の10名未満のクラス、および、13週目までに終了するクラスについては、担当教員の任意で実施)、およびこれらの授業を履修している全学生

4) 調査方法

WEBアンケートシステムを用いて調査を実施した。基本的な実施手順は、下記の通り。

- ①各授業の終了前15分程度を使用する。
- ②Google Classroomを通じてアンケートの回答URLを学生に伝える。または、回答URLの二次元コードをプロジェクターに投映するなどして学生にスマートフォンで読み取ってもらう。
- ③回答時間は、授業時間終了2分前までを目安とする。

5) 調査期間

2025(R7)年12月22日(月)～2026(R8)年1月19日(月)(※原則、授業の13週目に実施)

6) 調査主体

大阪成蹊大学

7) 調査実施率、有効回答率のまとめ

◆科目ベース

		対象科目数	実施科目数	調査実施率
配当 所属	経営学部	147科目	147科目	100.0%
	芸術学部	139科目	139科目	100.0%
	教育学部	204科目	204科目	100.0%
	教育学部・教職課程	6科目	6科目	100.0%
	国際観光学部	21科目	21科目	100.0%
	データサイエンス学部	22科目	22科目	100.0%
	看護学部	25科目	23科目	92.0%
	大学共通	241科目	240科目	99.6%
	教職課程	12科目	12科目	100.0%
	博物館学芸員課程	4科目	4科目	100.0%
2025(R7)後期 計		821科目	818科目	99.6%

◆学生ベース

		延べ履修者数	延べ有効回答者数	有効回答率
所属 学部	経営学部	9,361名	7,829名	83.6%
	芸術学部	7,581名	6,271名	82.7%
	教育学部	10,936名	7,618名	69.7%
	国際観光学部	2,047名	2,012名	98.3%
	データサイエンス学部	2,815名	1,395名	49.6%
	看護学部	1,417名	1,071名	75.6%
	(所属学部不明、その他、端数調整)	1,172名	9名	
2025(R7)後期 計		35,329名	26,205名	74.2%

※「延べ履修者数」は、学生1名が複数の調査対象科目に履修登録している場合、履修科目ごとに1名としてカウントした。

※「延べ有効回答者数」は、学生1名が調査期間中に複数の調査対象科目に出席し、且つ、アンケートに回答した場合、回答した科目ごとに1名としてカウントした。ただし、調査項目に1問も回答がない(回答者の基本属性を含む。自由記述は除く)ケースについては、無効回答として集計対象から除外した。

8) 調査結果の活用

アンケート結果はプロジェクトチームによって分析され、教学改革会議において報告された。また、授業ごとのアンケート結果は担当の教員に戻され、各教員はその結果を受けて授業実施報告書を作成した。

本学では、教学改革会議のプロジェクトチームが中心となり、各学部・学科、FD委員会、教務係などと連携しながら、授業評価アンケートの結果を授業改善へとつなげていく。

授業評価アンケート結果（一般科目）

◆経年比較

※履修者数10名未満の科目は除いている。

※昨年度までは30問中「1」または「5」の回答が29以上のケースは除いていたが今年度は除外していない。除いた場合でも値はほぼ変わらない。

※今年度前期からアンケートの質問文を一部変更している。変更点は報告書の最後に記載した。特にⅠ-5は選択肢を含めて大きく変更したため、比較の際は注意が必要である。

	2024年度後期		2025年度前期		2025年度後期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
Ⅰ. 授業への学生の取り組み						
Ⅰ-1. この授業への出席(参加)状況	3.88	1.24	4.14	1.13	3.99	1.17
Ⅰ-2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	4.16	0.94	4.38	0.75	4.38	0.74
Ⅰ-3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間(授業時間を除く)	1.98	1.20	2.14	1.26	2.26	1.29
Ⅰ-4. この授業の自分にとっての難易度	3.44	0.75	3.56	0.73	3.56	0.71
Ⅰ-5. この授業のシラバス(授業計画)を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。	2.82	1.19	3.93	1.00	3.97	0.97
Ⅱ-①. 授業内容と授業の進め方						
Ⅱ-①-1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	4.13	0.93	4.25	0.89	4.23	0.88
Ⅱ-①-2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	4.12	0.93	4.20	0.91	4.20	0.90
Ⅱ-①-3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.16	0.91	4.24	0.89	4.24	0.88
Ⅱ-①-4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	4.18	0.89	4.25	0.88	4.26	0.86
Ⅱ-①-5. 教員は学生の授業参加(交流、ワーク、発表など)を促していた。	4.20	0.89	4.21	0.96	4.22	0.93
Ⅱ-①-6. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価など)をしていた。	4.23	0.87	4.28	0.89	4.28	0.87
Ⅱ-①-7. 教員は各回の授業のテーマや目標、科目全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.27	0.83	4.32	0.83	4.32	0.82
Ⅱ-①-8. テキストや授業資料は適切で分かりやすかった。	4.20	0.89	4.26	0.89	4.25	0.88
Ⅱ-①-9-1. (講義・演習科目の場合)板書やスライド資料は適切で分かりやすかった。	4.21	0.88	4.28	0.87	4.25	0.86
Ⅱ-①-9-2. (実技・実験・実習科目の場合)教員による実演や実習等の説明は分かりやすかった。						
Ⅱ-①-10. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.30	0.82	4.37	0.81	4.36	0.81
Ⅱ-①-11. 教員は授業の準備を十分にしていた。	4.34	0.80	4.43	0.78	4.40	0.78
Ⅱ-①-12. 教員は学生がマナーを守るよう指導していた。	4.20	0.87	4.27	0.89	4.26	0.87
Ⅱ-①-13. クラス全体が集中して学べるように教員が指導していた。	4.20	0.86	4.27	0.88	4.27	0.86
Ⅱ-①-14. 教員はよりよい授業となるよう授業方法の改善に取り組んでいた。	4.22	0.86	4.29	0.86	4.29	0.85

(該当者のみ回答) II-①-15. 遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom・Meet・Zoomなど)を適切に活用していた。	4.30	0.85	4.41	0.82	4.45	0.75
II-②. 教育環境						
(該当者のみ回答) II-②-1. 対面授業では適切なICT環境(Wi-Fi、PCなど)が整っていた。	4.29	0.88	4.34	0.90	4.35	0.86
(該当者のみ回答) II-②-2. 対面授業では適切な教室設備(空調、プロジェクター、机の配置など)が整っていた。	4.32	0.84	4.35	0.92	4.37	0.83
III. 授業を通して得られたこと						
III-1. この分野の専門的知識や技能が身についた。	4.26	0.80	4.33	0.79	4.33	0.79
III-2. 学習力や思考力が高まった。	4.23	0.82	4.30	0.83	4.30	0.82
III-3. 知的好奇心や探究心が高まった。	4.21	0.84	4.27	0.86	4.28	0.84
III-4. 考え方や社会的視野が広がった。	4.23	0.83	4.29	0.84	4.30	0.82
III-5. コミュニケーションする力(他人の意見を聞き、自分の意見を適切に表現する力)が高まった。	4.07	0.96	4.14	0.97	4.16	0.95
III-6. シラバスに明記されている本授業における到達目標(知識、技能、態度等)を達成できた。	4.13	0.84	4.18	0.85	4.20	0.83
III-7. これから生きていくうえで役立つと思う。	4.26	0.81	4.35	0.82	4.33	0.81
III-8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.26	0.85	4.35	0.84	4.33	0.82

2025年度前期には調査方法や質問文の変更があったため、それ以前の時期との単純な比較には注意が必要である。2025年度後期は、前期と比べて多くの項目で大きな変化はみられない。「I-1. 出席(参加)状況」の平均値は4.14から3.99へ低下したが、2024年度後期の3.88は上回っている。また、「I-3. 平均学習時間」に関する平均得点は2.14から2.26へ上昇し、「I-2. 熱心に受講し、主体的に取り組んだ」も4.38と前期と同水準である。学生の取り組みに関する各項目は、概ね前期と同程度で推移しているといえる。

授業運営および授業を通して得られたことに関する各項目についても大きな変動はみられず、概ね高い水準で推移している。「III-8. 全体として、この授業を受けて満足した」も4.33であり、平均値の推移からみる限り、全体として大きな悪化はみられない。

◆条件ごとの「授業運営」尺度・「学修達成」尺度の得点の違い

アンケート項目のうちⅡ-①-1からⅡ-①-14までの平均を「授業運営」尺度とする。これは、教員の授業に対する工夫や熱意などを示す指標である。また、Ⅲ-1からⅢ-8までの平均を「学修達成」尺度とする。これは、学生が専門知識や思考力、コミュニケーション能力などを身につけたかどうかを示す指標である。

所属学部別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
経営	4.16	0.76	7337	4.15	0.75	7652
芸術	4.41	0.62	5932	4.40	0.60	6212
教育	4.36	0.73	6969	4.38	0.72	7255
国際観光	4.34	0.73	1846	4.31	0.77	1972
データサイエンス	4.04	0.72	1310	3.99	0.75	1366
看護	4.07	0.74	1028	4.12	0.74	1058
全体	4.28	0.72	24431	4.28	0.72	25524

授業形態別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
講義	4.20	0.74	13712	4.20	0.74	14482
演習	4.38	0.69	10250	4.37	0.69	10557
実技実験実習	4.49	0.60	469	4.53	0.61	485
全体	4.28	0.72	24431	4.28	0.72	25524

授業規模別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
小 (10～19)	4.44	0.68	1519	4.43	0.67	1588
中 (20～39)	4.40	0.68	6904	4.39	0.69	7100
大 (40～79)	4.30	0.73	6095	4.32	0.72	6264
特大 (80～)	4.16	0.73	9913	4.16	0.74	10572
全体	4.28	0.72	24431	4.28	0.72	25524

学年別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1年生	4.34	0.70	9995	4.32	0.71	10422
2年生	4.21	0.76	7409	4.23	0.74	7793
3年生	4.26	0.71	5624	4.27	0.70	5840
4年生	4.28	0.74	1337	4.27	0.74	1396
5年生以上	4.35	0.76	66	4.33	0.75	73
全体	4.28	0.72	24431	4.28	0.72	25524

教員区分別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
専任	4.28	0.72	16687	4.28	0.72	17258
非常勤	4.27	0.73	7744	4.27	0.72	8266
全体	4.28	0.72	24431	4.28	0.72	25524

〈I-2 学生の熱心さ〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. そう思わない	2.18	1.16	101	2.10	1.18	104
2. あまりそう思わない	3.31	0.92	310	3.14	0.95	323
3. どちらともいえない	3.48	0.73	2165	3.46	0.72	2280
4. ややそう思う	4.05	0.58	9379	4.04	0.56	9821
5. そう思う	4.63	0.56	12451	4.65	0.55	12969
全体	4.28	0.72	24431	4.28	0.72	25524

〈I-4 学生が感じる授業の難易度〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. 簡単すぎた	3.41	1.34	129	3.35	1.40	134
2. やや簡単だった	3.91	0.90	496	3.96	0.89	517
3. 適切だった	4.37	0.69	11687	4.37	0.69	12205
4. やや難しかった	4.23	0.65	9774	4.23	0.65	10214
5. 難しすぎた	4.15	0.93	2316	4.13	0.96	2425
全体	4.28	0.72	24431	4.28	0.72	25524

〈I-5 学生のシラバス活用度〉別

	授業運営			学修達成		
	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差	度数
1. そう思わない	3.55	1.24	603	3.55	1.23	631
2. あまりそう思わない	3.82	0.86	990	3.77	0.90	1026
3. どちらともいえない	3.85	0.76	5233	3.85	0.75	5482
4. ややそう思う	4.17	0.54	9340	4.18	0.54	9758
5. そう思う	4.79	0.44	8233	4.78	0.45	8596
全体	4.28	0.72	24431	4.28	0.72	25524

学部別では、「芸術」「教育」「国際観光」の平均値が相対的に高い。2025年度前期と比べても、各学部の傾向に大きな変化はみられない。授業形態別では、講義に比べて演習・実技実験実習の平均値が高く、授業規模別では、履修者数が少ない区分ほど平均値が高い。学年別では2年生の平均値が最も低い。教員区分別では、専任と非常勤はほぼ同水準である。おおむね例年通りである。

2025年度前期から、相関分析に代えて、学生の授業への取り組みや授業難易度の認識別に、授業運営・学修達成の平均値を示している。「I-2. 学生の熱心さ」と「I-5. シラバス活用度」については、肯定的な回答をした群ほど、授業運営・学修達成の平均値が高い。「I-4. 学生が感じる授業の難易度」については、「適切だった」と回答した群で授業運営・学修達成の平均値が最も高い。学生の授業への取り組みや授業難易度の認識と、授業運営・学修達成に対する評価との間には関連があると考えられる。

授業評価アンケート結果（ピアノ科目）

◆経年比較

	2024年度後期		2025年度前期		2025年度後期	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
I. 授業への学生の取り組み						
I-1. この授業への出席(参加)状況	4.17	1.04	4.34	0.97	4.22	1.01
I-2. この授業では、熱心に受講し、主体的に取り組んだ。	4.44	0.93	4.74	0.52	4.73	0.53
I-3. 「この授業の予習・復習・課題」に取り組むために費やした1週間あたり平均学習時間(授業時間を除く)	2.21	1.16	2.48	1.22	2.87	1.32
I-4. この授業の自分にとっての難易度	3.38	0.70	3.44	0.66	3.47	0.72
I-5. この授業のシラバス(授業計画)を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。	2.50	1.23	4.05	0.96	4.19	0.92
II. 授業内容と授業の進め方						
II-1. 全体として、教員の説明は簡潔で分かりやすかった。	4.55	0.70	4.66	0.67	4.63	0.61
II-2. 教員は学生の理解度に合わせて授業を進めていた。	4.55	0.72	4.68	0.64	4.64	0.61
II-3. 教員は学生が関心を持てるように工夫して授業を進めていた。	4.52	0.71	4.63	0.68	4.62	0.66
II-4. 教員は学びを深める方法(授業の受け方、課題への取り組み方、復習の仕方など)を教えていた。	4.54	0.71	4.66	0.62	4.62	0.62
II-5. 教員は学生が取り組んだ課題に対して、適切なフィードバック(対応・意見・評価など)をしていた。	4.56	0.73	4.65	0.64	4.60	0.66
II-6. 教員は各回の授業のテーマや目標、グレード全体の中での位置づけを明確に説明し、計画的に授業を進めていた。	4.53	0.76	4.66	0.65	4.61	0.61
II-7. 教員による実演の説明は分かりやすかった。	4.60	0.67	4.67	0.66	4.65	0.64
II-8. 教員の授業に対する熱意を感じた。	4.61	0.67	4.70	0.62	4.70	0.57
(該当者のみ回答) II-9. 対面授業では適切な教育設備(空調など)が整っていた。	4.45	0.79	4.43	0.89	4.53	0.75
(該当者のみ回答) II-10. 遠隔授業では教員は授業ツール(Classroom・Meet・Zoomなど)を適切に活用していた。	4.41	0.84	—	—	—	—
III. 授業を通して得られたこと						
III-1. ピアノ技能が身についた。	4.58	0.70	4.65	0.59	4.67	0.61
III-2. 楽曲の理解力が高まった。	4.51	0.72	4.63	0.60	4.66	0.57
III-3. 音楽に関する知的好奇心や探究心が高まった。	4.46	0.77	4.57	0.67	4.67	0.56
III-4. 音楽に関する考え方や社会的視野が広がった。	4.42	0.78	4.52	0.70	4.63	0.60
III-5. 表現する力が高まった。	4.51	0.72	4.55	0.69	4.61	0.64
III-6. シラバスに明記されている本授業における到達目標(知識、技能、態度等)を達成できた。	4.36	0.78	4.42	0.74	4.54	0.62
III-7. これから生きていくうえで役立つと思う。	4.58	0.67	4.66	0.61	4.68	0.60
III-8. 全体として、この授業を受けて満足した。	4.57	0.72	4.71	0.61	4.67	0.62

2025年度からの質問文・選択肢変更点

I 授業への学生の取り組み

【変更前】4. この授業の内容は私にとって

【変更後】4. この授業の自分にとっての難易度

【変更前】5. 私はこの授業のシラバスを活用した。

- ①全く活用しなかった ②あまり活用しなかった ③どちらともいえない
④活用した ⑤とても活用した

【変更後】5. この授業のシラバス（授業計画）を見て、授業の流れや成績評価のポイントを判断するために活用した。

- ①そう思わない ②あまりそう思わない ③どちらともいえない ④ややそう思う ⑤そう思う

II 授業内容と授業の進め方

【変更前】5. 教員は学生の授業参加（質問、個人・共同作業、意見交換、議論、発表など）を促していた。

【変更後】5. 教員は学生の授業参加（交流、ワーク、発表など）を促していた。

【変更前】9-1. 板書やスライド資料（パワーポイントなど）は適切で分かりやすかった。

【変更後】9-1. 板書やスライド資料は適切で分かりやすかった。

IV 自由記述

〈リード文〉

【変更前】この授業の良かった点、悪かった点、意見、改善点等を自由にお書きください。なお、書かれた内容は授業改善に活用します。

【変更後】この授業について、良かったところ、改善すべきところ等がありましたら、自由に入力してください。本学の授業改善の資料として活用します。なお、入力された内容は、担当教員も直接閲覧します。授業改善につながる建設的な意見を書くようにしてください。

〈記入欄〉

【変更前】※もとの質問紙ではリード文のあとすぐに4行の記入欄

【変更後】※記入欄を「授業」と「教室・設備」の2つにわけると。

※1つのページで、できれば入力欄が2つとも見えるようにする。

1. この授業のよかったところ、継続してほしいところ、改善・提案できるところがあれば記入してください。

自由記述： 記入欄

2. 教室や設備について要望があれば記入してください。

教室名：（ ）教室 （例：525教室，G11教室など）

自由記述： 記入欄

以上